

## 平成30年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	小平らしい生き物の調査事業
団体名	特定非営利活動法人 NPO birth
担当課名	環境政策課

**①目的の共有**（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価 :十分に達成できた	担当課自己評価 :十分に達成できた
・小平市内の生物の生息状況を把握でき、それを元に市民への普及啓発をすることができた。	

**②自主・自立の尊重**（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価 :十分に達成できた	担当課自己評価 :十分に達成できた
・事業の企画・運営については、団体の自主性を尊重していただき、実施場所や時期などを適切に決めて、事業を進めることができた。	

**③相互理解**（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価 :十分に達成できた	担当課自己評価 :十分に達成できた
・地域で活動する、自然についての専門知識を持つ団体として理解し、尊重していただいたことで、調査場所の決定や観察会の内容などを適切に判断し、事業を効果的に遂行することができた。	

**④対等関係**（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価 :十分に達成できた	担当課自己評価 :十分に達成できた
・事業内各項目の実施前には必ず打合せを行い、スケジュールや役割分担を確認し合うなど、十分な情報共有と意見交換をすることができた。	

**⑤情報の共有**（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価 :十分に達成できた	担当課自己評価 :十分に達成できた
・事業前の打ちあわせ以外にも、製作物の進捗状況やプログラムの集客状況などについて、密に連絡を取り合い、情報共有をすることができた。	

**⑥役割分担と責任の明確化**（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価 :十分に達成できた	担当課自己評価 :十分に達成できた
・団体は調査や観察会などにおいて専門性を発揮でき、担当課は市民への窓口として対応していただいた。	

## ⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価：十分に達成できた	担当課自己評価：十分に達成できた
<p>・協働することで、専門的な技能を有する者が調査を行い、希少種や外来種など生物の生息状況を的確に把握することができた。また、より多くの市民に効果的に普及啓発をすることができた。</p>	

## ⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>・希少種13種を確認するなど、小平市内の自然の概況を的確に把握し、それを元に市民に普及啓発を行えた。外来種が多く見つかるなど今後に向けた課題はあるものの、事業目的は達成できたと実感している。</p>	

## ⑨地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価：達成できた	担当課自己評価：達成できた
<p>・自然の概況を把握し、それを元に普及啓発をできたことは評価できる。ただし、希少種の生息環境に課題があること、また外来種が多数を占める環境があったことなど、問題点を浮き彫りにすることは出来たが、解決に向けた取り組みは今後の課題である。</p>	

## ⑩その他意見（提案団体から）

<p>自然環境は季節ごとに大きく変わり、出現する生物の種類も変わることから、調査回数は充分とは言えない。小平市内の自然情報を正確に把握するためには、今後追加調査が必要である。また、観察会や講演会など普及啓発の場では、10代以下の若い層の参加が少ない。小学校と連携するなど、より幅広い層の参加につながるような訴求の仕方を工夫する必要がある。</p>
---

## ※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった